

中学生年代の最高位章を取得

日本ボーイスカウト岩手連盟北上第五団ボーイ隊

齋藤 崇志 君

世界216カ国、約2800万人の青少年が活動しているボーイスカウト。小学5年生から中学3年生までが所属する「ボーイ隊」の中で最高位に当たる「菊スカウト章」を齋藤崇志君(15歳)は、飯豊IIが獲得しました。同章は、ボーイスカウトの中でも修得が非常に難しい章。今回、県内では5人が取得し、市内では齋藤君ただ一人でした。

齋藤君がボーイスカウトに入団したのは小学3年生のとき。これまでに、地域のごみ拾いや福祉施設への慰問、キャンプ運営などさまざまな活動を行ってきた。

7年間に及ぶボーイスカウト活動での一番の思い出は、小学6年生のときに行った北海道での3泊4日のキャンプ。岩手県の代表団の一員として参加し、



北海道・東北地区の仲間と集団活動やハイキングなどを通して交流を深めました。そこで出会ったのが菊スカウト章を修得していた高校生。「年下の団員にはしっかりと指導し、年上の団員にはきちんとした敬語で話していました。自分は目上の人に敬語を使うという認識がなかったので驚きました。まさに理想の人です」と当時の心境を語ります。

以来、その人を目標とし、菊スカウト章を取得するため多くの課目を修了してきました。

た。初級スカウトから2級1級と次々に進級。そして中学校生活最後の年、難関とされる菊スカウト章を見事に修得しました。「目標としていた人に追い付くことができ、本当にうれしい」と素直に喜んでいきます。

4月からは市内の高校に進学し、ボーイスカウトでもボーイ隊からベンチャー隊に進級する齋藤君。ベンチャー隊でも最高位に当たる「富士スカウト」を目指し、新たな生活をスタートさせます。



花巻市平塚の森で体験したツリークライミング

数字に見る北上 ⑥

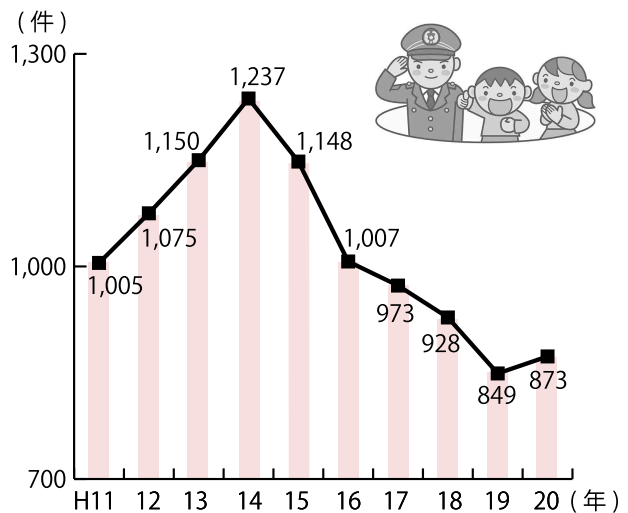
平成20年に北上市内で発生した窃盗や万引きなど刑法犯の発生件数です。平成14年の1,237件をピークに5年連続で減少してきましたが、昨年に増加に転じました。それでも、過去10年間では2番目に少ない件数です。

873件の内訳を見ると、自転車の窃盗が207件と突出しています。続いて、万引き(95件)、住宅・事業所などへの侵入窃盗(69件)、車上荒らし(55件)が上位を占めています。

自転車盗難に遭った人の約6割が鍵を掛けていませんでした。残り4割のケースでは鍵を掛けていても盗まれています。チェーン錠などを併用し、二重ロックで盗難を未然に防ぎましょう。自転車盗は犯罪です。地域のみんなで目を光らせましょう。

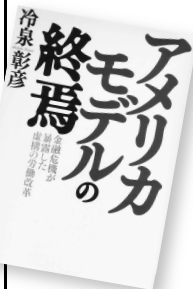
873件

北上市内の刑法犯発生件数(北上警察署調べ)

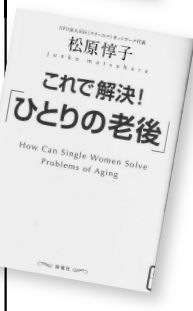


決算書が読めれば内定が取れる！加藤 清紀
 スープ一皿のしあわせ 大原 照子
 ツレと私の「たいへんだ！」育児 細川 貂々
 地方を殺すのは誰か 岩崎 芳太郎
 女優森光子 集英社
 生命の羅針盤 山田 恵子
 仲達 塚本 青史
 鬼の蹠音 道尾 秀介
 千世と与一郎の関ヶ原 佐藤 雅美
 灰塵の暦 船戸 与一

《3月の新着本から》



『アメリカモデルの終焉』
 冷泉 彰彦 著
 東洋経済新報社
 全ての元凶はここにあった！成果主義、ホワイトカラー・エグゼンプション、解雇条件の緩和…。
 米国に追従した改革の欺瞞を暴く！



『これで解決！ひとりの老後』
 松原 惇子 著
 海竜社
 2030年には高齢者のひとり暮らしは、現在の2倍以上に、全世帯の4割が「ひとり世帯」になる計算。だからといって、恐れや不安をもつことはない。ほんのちよっと心のスイッチを切り替えるだけで…。

きたかみ物産館



渦巻き模様で耳の形
 手造りかりん糖

柴田製菓

和賀町横川目33-16
 ☎72-2516



柴田 亮樹 さん

飽きのこない懐かしい味
 生地は岩手県産の小麦粉100%。良質の植物油で揚げた後に、溶かした黒砂糖を丁寧からめていきます。乾燥させると、昔懐かしい味の駄菓子、かりんとうの完成。すべてが手作業のため、少しも気の抜けない工程を家族でこなしています。
 黒砂糖の光沢が美しく、程よい甘さと薄さは、病みつきになるおいしさです。



36

散歩道

106

北上市長 伊藤 研

言葉の妙

サラリーマン時代営業部勤務のわたしは、多くの会社の年配者とゴルフや酒席などお付き合いをさせていただいた。先輩たちはそれぞれ、落語の落とし話や古い時代のしゃれ話で、若いわたしたちを笑わせたり感心させたりした。時としてナゾナゾ話を聞いているようであった。
 勤務時間中は難しい顔をしている人でも、仕事外では面白い先輩には親近感を感じ足しげく訪れたものである。この人たちにはずいぶんと仕事でもしごかれたし、お世話にもなった。
 ゴルフのナイスショットには「恐れ入谷の鬼子母神」としゃれで返し、風邪をひいてマスクをしていると「夜目遠目、傘の中、目病み女に風邪ひき男」などと言われた。この状態だと実

力以上に美男美女に見えるのだという。ある時はあてにならない注文予定に大きな期待を持ちすぎて「風が吹けばおけ屋がもうかる」のさ、とからかわれた。現在のよるな経済環境では、あてにすべきことを見つけないのは難しいかな？ご一緒した居酒屋の看板「春夏秋冬一斗二升五合」の意味も教わった。後年場末のじいちゃん、ばあちゃん二人でやってる焼鳥屋で、薄汚れた短冊にこの言葉を見つけたとき、二人の若き時代の意気込みがしのばれて妙に納得した。流行語大賞にならなくても、長く語り続けられている言葉には現代にも通用する含蓄がある。
 百歳のお祝いに訪れてお話しをさせていただけでも、多くは語っていただけないが、明治、大正、昭和、平成と過ごされた皆さんは、今はすたれてしまった方言や歴史以外にもきつとたくさん面白い言葉を知っていることであろう。古きものの発見は、新しい発見や百年に一度の難題の解決につながるかもしれない。